



亀之丞は、今川氏の討手から逃れ、浜松の龍潭寺と法縁深い信州の松源寺で9歳から20歳までの10年余を過ごしました。



亀之丞は、地元の領主「松岡氏」の保護を受け、家臣から武術を習ったとされます。愛笛「青葉の笛」を奏でる亀之丞は、松岡城から見晴らす南アルプス越しに、遠く故郷の井伊谷を偲んだことでしょうか。



この地で青年に育つ
 女城主のいいなずけ
 亀之丞(井伊直親)

ゆかりの地
南信州 高森町
直虎

亀之丞を育んだ風土は
 やがて珠玉の干し柿を生む
 市田柿 榮祥の里、高森町



南信州 高森町

2017年 大河ドラマ「おんな城主 直虎」の舞台

元氣もりもりあったかもり





一

1544 (天文13) 年、井伊直満は今川義元に謀殺され、直満の長男・9歳の亀之丞の命も危険に。今村藤七郎は亀之丞をカマスに入れて背負い、夜に紛れ井伊谷を出て渋川東光院へと脱出。許嫁 (直盛の娘) を残して...



二

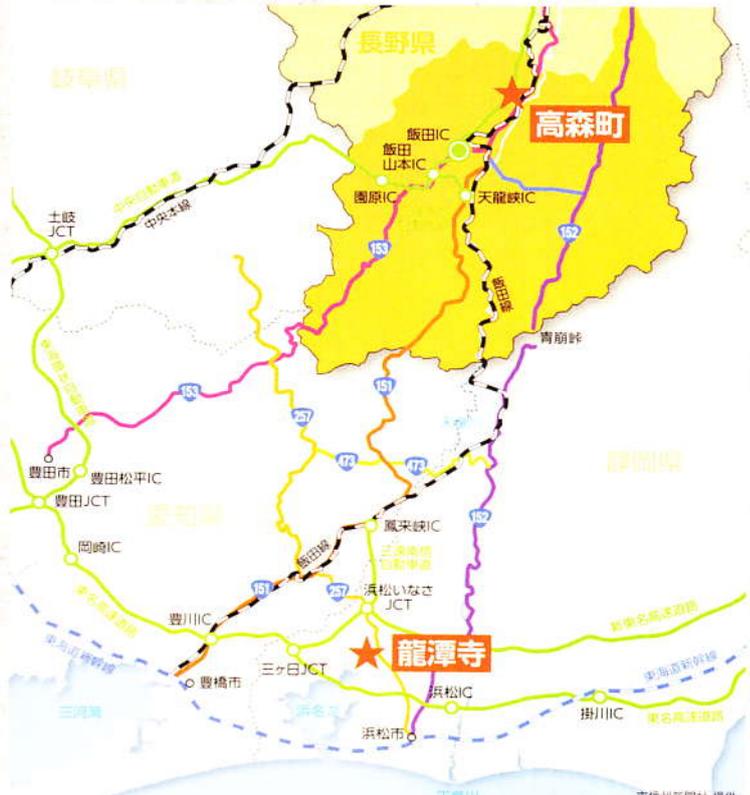
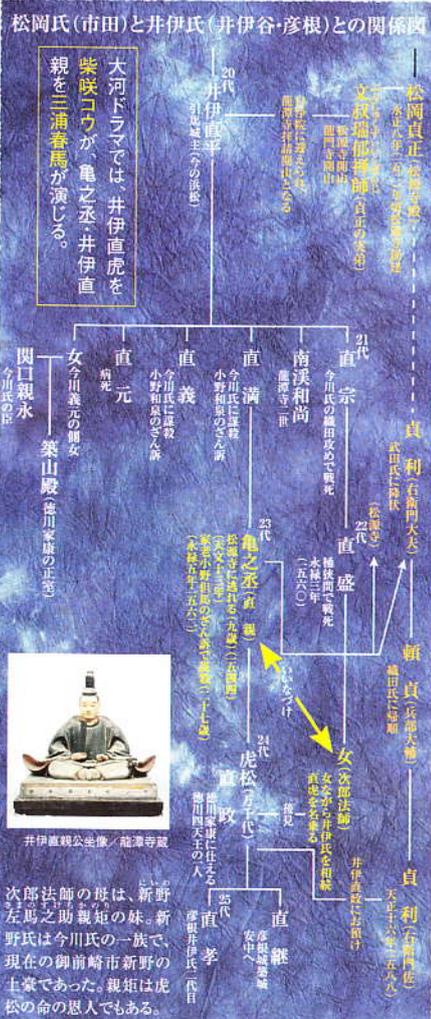
しかし渋川にも追手が迫り、1545 (天文14) 年正月三日の夜、東光院の能仲和尚の案内で信州市田郷の松源寺へ落ち延びた。その途中で右近次郎に弓矢で狙われたが危うく逃れたという。



三

今村藤七郎と共に松源寺に辿りついた亀之丞は、住職から学問を教わって育つ。一方、井伊谷では、事情を知らず亀之丞の死を確信した許嫁 (直盛の娘) は、出家して「次郎法師」と名乗ることに。

亀之丞 (井伊直親) は信川 (即)



亀之丞 (直親) の逃避行ルートは？

井伊家の命運を託された亀之丞 (直親) が、1545 (天文14) 年正月、遠州から南信州に逃げ延びたルートは謎に包まれている。次の3通りが考えられるが、果たして真相は？

- ① 秋葉街道ルート：水窪から青崩峠を越え遠山郷を経由
- ② 遠州街道ルート：国道151号線と同じく新野峠越え
- ③ 天竜川沿ルート：人目少なく山谷を超え天龍村を経由



浜松市にある井伊家ゆかりの地 龍潭寺

「りょうたんじ」
井伊家の菩提寺として有名。宗良親王の菩提寺でもある。ひっそりと佇む一族の墓。写真の右から、直虎、直親、直親夫人、直政。

場所 ■ 浜松市北区引佐町井伊谷1989
☎053-542-0480

井伊直親の墓

龍潭寺から車で約10分。直親の墓には高森町松岡城址愛護会が植樹したキンモクセイが植えられている。

歴史ロマンに彩られた高森町は



知ってる？
12月1日は市田柿の日!

日本記念日協会2013年登録





四

当時の信州市田郷を支配していた松岡氏の領主・貞利は、亀之丞を保護し、堅固で雄大を誇る松岡城の侍たちに、武術や弓馬の稽古をつけさせた。



五

やがて青年となった亀之丞。故郷を偲んで奏でる愛笛「青の笛」の音がこの地に響いたという。笛を教えてもらった「お千代」とは深い仲となり一子をもうけたといわれる。



六

20歳の亀之丞は、井伊谷に戻り井伊直親を名乗る。嫡子・虎松（後の井伊直政）を儲けるが、27歳で非業の死を遂げる。そこで次郎法師が「女城主・直虎」として虎松を後見し、井伊家存続の危機を救った。

つなば、20歳で井伊谷に戻る



松岡城址



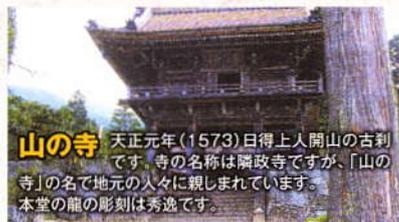
松源寺

創建は12代当主松岡貞正により1511（永生8）年頃とされる臨済宗古刹。本堂には若き直親の死を悼み、当時の泰運住職が作ったとされる位牌（現存は複製）がある。

場所 ■ 下伊那郡高森町下市田4389
☎0265-35-3302



ゆかりの地と共に訪ねたい奥深い歴史



山の寺 天正元年（1573）日得上人開山の古刹です。寺の名称は隣政寺ですが、「山の寺」の名で地元の人々に親しまれています。本堂の龍の彫刻は秀逸です。



富本銭 日本最古の貨幣とされる。高森町下市田の武陵地1号古墳より出土。古代から都この地域がつながっていたことを示す貴重なもの。時の駅に収蔵。見学可。



本学神社 日本で初めて、国学の四大人（荷田春満、賀茂真淵・本居宣長・平田篤胤）を祀った珍しい神社です。受験シーズンには合格祈願に多くの方が訪れます。



瑠璃寺 比較山の観音僧都（かんよそうず）が創建した古刹で、900年余の歴史があります。建久3（1197）年、源頼朝の祈願所として寄進された3本の桜が今も咲き誇ります。国の重要文化財「薬師瑠璃光如来三尊仏」、長野県民俗無形文化財で舞楽系屋台獅子の源流とされる獅子舞が有名。

高森町歴史民俗資料館「時の駅」

場所 ■ 下伊那郡高森町下市田2243 ☎0265-35-7083
開館時間 ■ 午前9時～午後4時30分
入館料 ■ 大人200円、小・中学生100円
休館日 ■ 月曜日・祝日の翌日



「市田柿」の発祥の里

晩秋、天竜川から湧き立つ朝霧と寒気…この豊かな自然風土が「市田柿」のふるさとです



3

吊るし干し（はざ干し）が終わると、天日干しや柿揉み粉出し（寝かせ込み）が行われます。



4

皮むきから30～40日ほどでできあがります。



5

美しい餡色の実は、白く上品な餡分の衣をまとった状態でパッケージング、いよいよ出荷です。



※干し柿にはビタミンA・ミネラルの他、食物繊維やポリフェノール（カキタンニン等）が多く含まれています。



バターやクリーム、チーズをはさんで市田柿のフルーツ



ヨーグルトに入れてもおいしい



市田灯籠流し・大煙火大会

毎年8月18日の夜を彩る光のページェント。天竜の川面に揺れる灯籠、庄巻の花火の競演は、もうすぐ百年目を迎えます。

宝の森だね！ 高森町



天伯映・ほたるの里

毎年6月中旬から下旬にかけて多くのゲンジボタルが飛び交います。互いに呼応しあって光るさまは夢のように幻想的です。

高森カントリークラブ

南アルプスを望む本格派コース
TEL.0265-35-3355



信州たかもり温泉 湯ヶ洞・御大の館

南アルプスを見晴らす絶景の天然ラドン温泉。滋味深い郷土料理でおもてなし。日帰り入浴・食事・宴会・宿泊とご利用いただけます。



高森南小学校の桜

日本さくらの会から「日本一の学校桜」として紹介されたことも。広い校庭を囲む大木のソメイヨシノが一斉に花咲く光景は圧巻です。



名勝 不動滝

高さ約50mを流れ落ちる清流が、巻きのミストを発生します。春の新緑、夏の涼やかさ、秋の紅葉もお楽しみです。長野県自然百選のひとつ。



ハーモニックロード

中央アルプス山麓に沿って走る高原ロード。美しい南アルプスの雄姿を遠望できます。

美味特産品

大きな標高差と日照時間、そして豊かで多様な自然風土に恵まれた高森町は、市田柿をはじめ「美味しい」素材の宝庫。安全安心な果物・野菜・米をはじめ、ご家庭で、あるいは大切な人への贈答品として、旬の採れたてをどうぞ。

フルーツ

※果物狩りのご予約
高森町営農支援センターゆうき
(TEL.0265-35-3044)

りんご

8月中旬から12月下旬にかけて、つがる・陽光・シナノスイート・シナノゴールド・秋映・王林・サンふじと、多彩な品種が味わえます。

ぶどう

8月から10月まで、おなじみの巨峰・ピオーネのほか、種が無く皮まで食べられるナガノパープル・シャインマスカットが人気です。

もも

7月から8月にかけて、白鳳・あかつき・ネクタリンなどが市場や直売所を甘い香りで包み込みます。贈答用にも大人気。

なし

9月から10月を中心に、幸水・豊水・南水・二十世紀など、個性豊かな味わいとみずみずしい食感が楽しめます。洋ナシも充実。

さくらんぼ

6月が最盛期となる果樹のトップバッター。設備が充実したハウスで、一粒ずつ採って食べるサクランボ狩りが大人気。

◆このほかにも、ブルーベリーやイチゴのほか、珍しい品種など多彩なフルーツが収穫されます。



市田酪農の牛乳・ヨーグルト

注文を受けてから地元酪農家が搾り取る新鮮な生乳で作られます。全国ファンがリピートする牛乳とヨーグルト。工場となりの直営ショップでもどうぞ。

ご当地どんぶり「アルプスサーモン丼」

純伊那谷産アルプスサーモンの鮮やかな赤みが、特産「市田柿」の色を連想させることから、高森町初のご当地どんぶりとして誕生。脂がしっかり乗った切り身を、町内数店舗による多彩な味付けで丼に仕上げます。是非ご賞味を!

高森町へのアクセス



長野県 高森町

〒399-3103 長野県下伊那郡高森町下市田2183-1

[高森町役場 観光担当：産業課] TEL.0265-35-3111 FAX.0265-35-8294

(平成28年度 長野県 地域発 元気づくり支援金活用事業)

